

2022 年度事業報告書

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人

沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい

1 事業の成果

子ども・若者たちが人と接したり社会体験する機会が極端に制限された前年度までの状況から、2022 年度は少しずつ活動が以前のような状況を取り戻していった 1 年間だった。

県外での活動を体験する機会も 4 回（北海道、熊本、長野、北九州）実施され、参加した子ども若者の声はこうした取り組みの重要性を裏付けるものとなった。

また、本年度は法人のこれまでの活動を明文化した漫画本「居場所をください」の製作にも取り組み、製作過程の中で改めて孤立が個人の人生に与える影響、居場所づくりに取り組む意義について見つめなおし、製作費用を捻出するためのクラウドファンディング挑戦により社会の関心の高さや温かな視線を直に感じる機会となった。

今年度の活動において、拠点を構えて運営している 4 事業所の合計利用のべ人数は年間で 9,363 名であった。その他、若者の働くについて若者たちと考えることに取り組んだアシタネプロジェクト、子どもの権利を守る支援者の能力向上を目指した研修開発の取り組み、こどもを中心に置いた多世代地域ネットワークづくり（移動公園かめパーク号プロジェクト）など、子ども若者の生きる権利の保障を社会課題としていくことを目指し各事業に取り組んだ。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費の金額 (円)
社会に自立するのに困難を抱えている、または抱えそうな子ども・若者の社会参加支援事業	子どもの包括的自立促進支援事業	2022 年 4 月 ～2023 年 3 月	那覇市	8 人	中学生・高校生の不登校児 延べ 3,766 人	90,641,576 円
	うるま市若者居場所運営支援事業	2022 年 4 月 ～2023 年 3 月	うるま市	7 人	中学生・高校生の不登校児 延べ 948 人	
	子どもの居場所重点支援事業	2022 年 4 月 ～2023 年 3 月	うるま市	6 人	幼稚園・小学校・中学 延べ 3,300 人	

	長期化する若者の「コロナ失職」包括支援事業	2022年1月 ～2023年2月	那覇市 うるま市	3人	那覇市・うるま市 15歳以上 延べ人数 124人	
	若者の「つながり」を育む夜間の居場所事業	2023年3月 ～2024年2月	那覇市 うるま市	4人	中学生・高校生の不登校児 延べ人数 120人	
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	障害福祉就労移行・継続B型事業所	2022年4月 ～2023年3月	うるま市	6人	障がい福祉就労支援サービスにおける該当者延べ利用人数 3259人 (就労移行・就労継続B型)	18,479,771 円
その他目的を達成するために必要な事業	子ども支援団体の組織基盤強化事業 「経済的理由で排除されない子ども若者支援体制づくり事業」	2022年4月 ～2023年3月	那覇市 うるま市	2人	法人職員 24名 法人が行った事業全ての対象者	9,137,926 円
	大和証券こどもサステナブル基金 「こども支援者の能力向上ワークショップ・プログラム開発事業」	2022年4月 ～2023年3月	那覇市 うるま市	2人	県内外の子ども支援関連団体支援者 延べ約300人	
	麒麟福祉財団計画助成事業（地域社会等） 「子ども支援ネットワークづくりで「うるま」を元気に」	2022年4月 ～2023年3月	うるま市	3人	うるま市内の子どもの居場所関係者 延べ人数 200人	

	感動体験支援基金		那覇市	6人		
	沖縄県うるま市の「子ども第三の居場所」(B)常設ケアモデルにおける子どもへの体験機会の提供 補正サービス等生産性向上 IT 導入支援事業 (HP、寄付決済システムの改変)	2022 年 7 月 ～2023 年 6 月 2022 年 10 月～ 2023 年 5 月	うるま市 那覇市 うるま市	6人 6人	うるま市内小学生 20名	